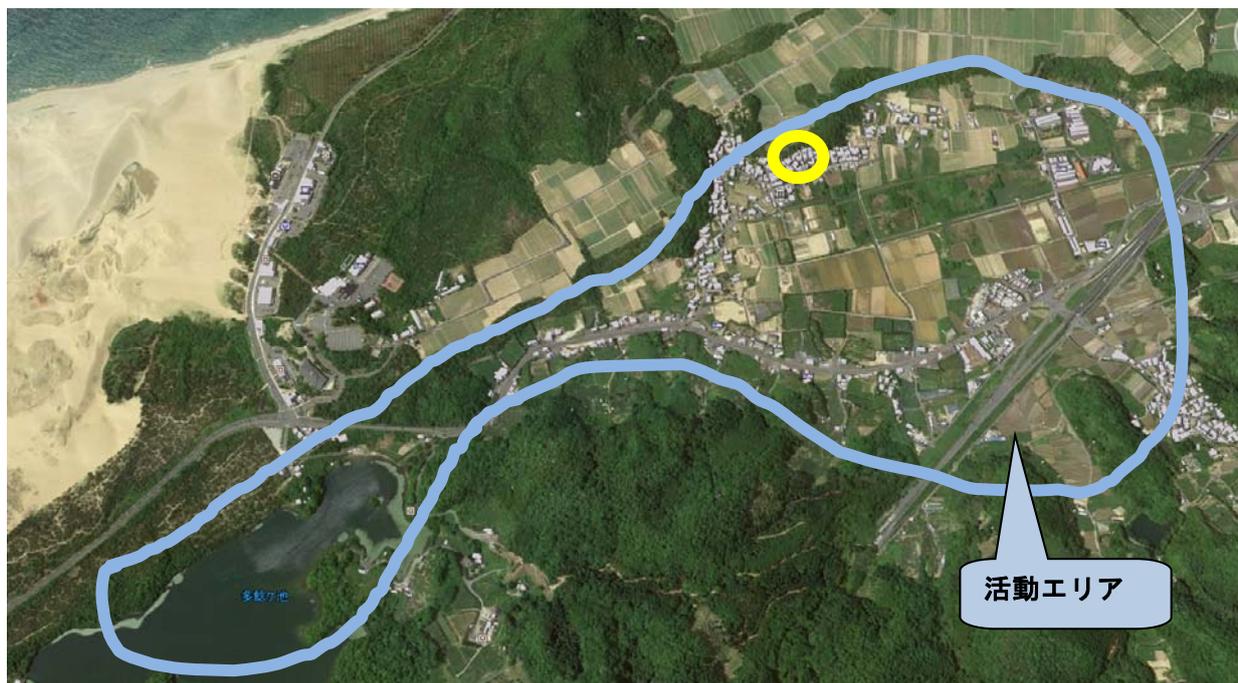


活動内容：江戸時代後期～昭和初期の農業体験・福部未来学園生徒への教育活動

農林水産省「多面的事業活動記録」 2020年10月



活動の場所	湯山地域に現在も残る江戸後期の歴史遺産とも言える「川戸」
活動の内容	福部未来学園5年生児童を対象に「川戸で足踏み水車体験と川船漕ぎ体験」

活動写真

砂丘乾燥地研究センター
砂丘の勉強会



川戸で「足踏み式水車」
体験



川戸で「川船漕ぎ」体験



10月15日NHKの夕方ニュース「色どり」の画面から

NHKニュース
「いろドリ」



NHK 鳥取福部未来学園農業体験イベント動画

日本海テレビ
動画ニュース



日本海新聞

ト(米子市公会堂)▽同26

足踏み水車体験

地元干拓地の農業学ぶ

来童
未来学園
福部学

鳥取市福部町の地形の変遷や歴史を学ぶ授業が15日、同町湯山であった。福部未来学園の5年生18人が、江戸後期から昭和初期の水田作業に使われた足踏み式水車や川船乗りを体験。水路を整備し、干拓地の農業を支えた先人の知恵と労苦に思いをほせた。

同校の独自教科「みらい」の探究学習の一環。昨年、地元住民団体「浜湯山・多鯨ヶ池活性化委員会」（飼牛明代表）と共同で作った歴史読本を活用し、地域の産業や歴史など興味を持ったテーマを深掘りする。

飼牛代表(72)が、多鯨ヶ池の東にあった湯山池は江戸時代に鳥取砂丘の砂で埋め立てられ、50畝の水田に生まれ変わった経緯を説明。道路網がなく、農業用



地元住民に教わりながら、足踏み式水車で水のくみ上げ作業に挑戦する児童。15日、鳥取市福部町湯山

児童らは、集落の水路で水のくみ上げ作業に挑戦。竹ざおで体を支えながらゆっくり水車を回すと水が流れ出し、大きな歓声が上がった。田中ひな乃さん(10)は「自転車をこぐように足を動かしたらうまく回せた。福部の農業の歴史をもっと知りたい」と話した。(野木 絢)

日本海新聞動画

農業 難しく楽しい

鳥取の小5が作業体験

鳥取市立福部未来学園小の5年生18人が15日、同小近くの水田などで江戸後期



足で踏むようにして水車を回す児童（鳥取市で）

昭和初期に地域で行われていた農作業を体験した。

子どもたちに地域の伝統や文化への理解を深めてもらおうと、同小の探究的な学習を進める特設教科の一環として実施。住民団体

「浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会」が、同小などと協力して作った地域の歴史などに関する冊子を活用した。

児童は木製の水車（直径

約1・5メートル）の上に乗って、足踏みするようにして水車を回転させ、水路から田んぼに水を送り込んだほか、竹ざおで川舟のかじ取りに挑戦。その後、多鯰ヶ池と浜湯山をつなぐ地下水路を見学するなどした。

西岡心汰君（11）は「見ためより難しかったけど、楽しかった」と笑顔。同委員会の飼牛明委員長（72）は「地元のことを隅々まで知って、地元愛を育んでほしい」と話していた。